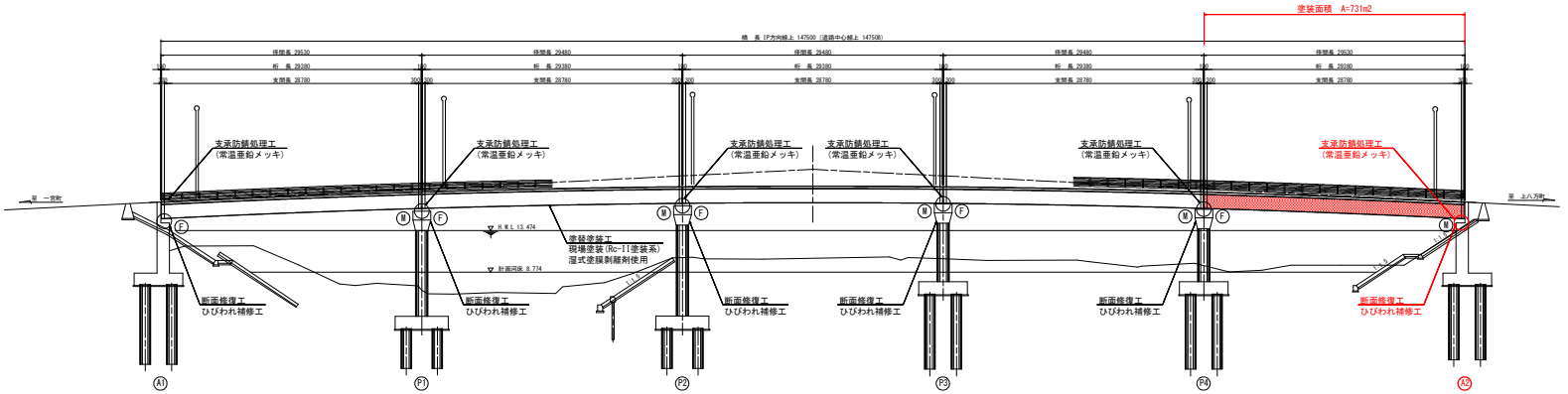
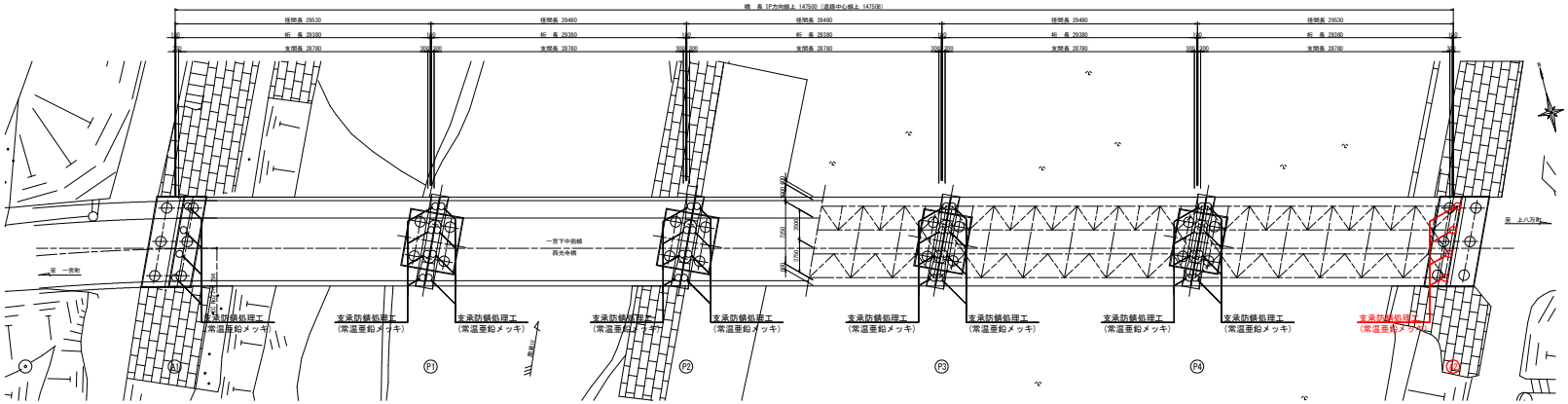
西光寺橋 橋梁修繕計画一般図

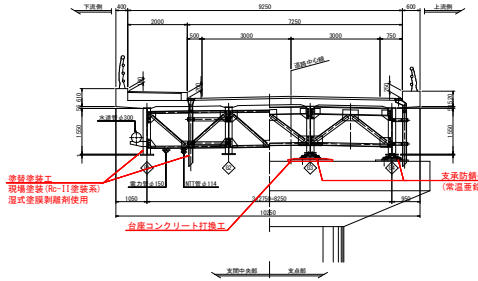
側面図 S=1:200



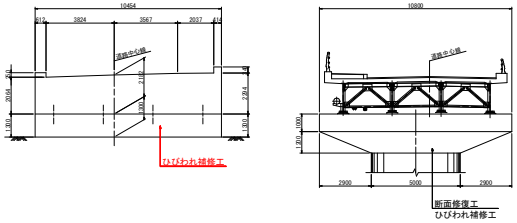
平面図 S=1:200



上部工断面図 S=1:60



下部工正面図 S=1:100



西光寺橋 補修計画概要一覧表

工 種	名 称	仕 様	備 考
橋体工	塗替塗装工	現場塗装 Rc-II塗装系 湿式塗膜剥離剤使用	上部工鋼部材
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル補修	
	ひびわれ補修工	可とう性エポキシ樹脂低圧注入および充填	
	支承防錆処理工	常温亜鉛メッキ	全支承対象
	台座コンクリート打換工	無収縮モルタル	
その他	仮設工	塗装用吊り足場、補修用吊り足場	

斜 角(θ=80° 00')

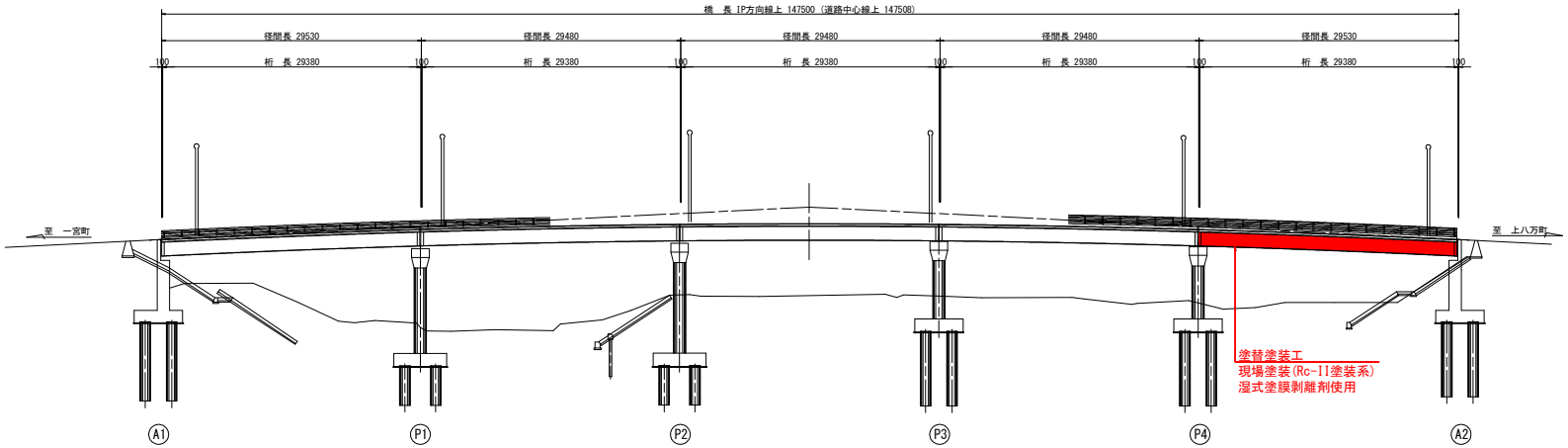
注記)
本図面の現橋橋梁および地形は、既存資料を基にCAD化し作成したものである。

実施設計図面

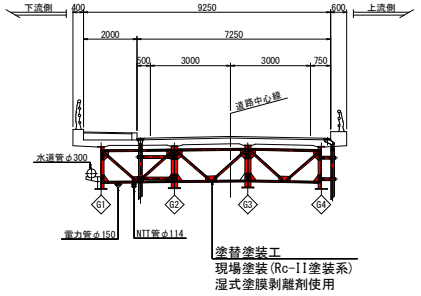
工事名	R3橋土 一宮下中筋線 橋・上八万 橋梁塗装工事(3)
路線名等	一宮下中筋線
工事箇所	徳島市上八万町 (西光寺橋) (第3分割)
図面名	橋梁修繕計画一般図
縮尺	図示 図面番号 1 ／ 7
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

鋼桁塗替塗装工詳細図(1/2)

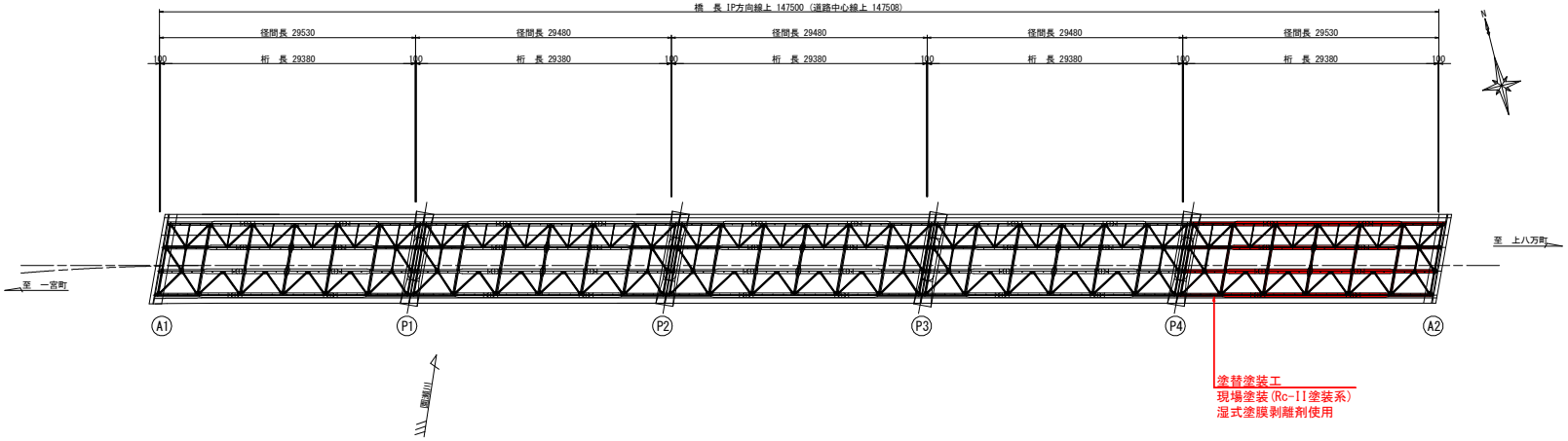
側面図　S=1:300



上部工断面図　S=1:100



平面図　S=1:300



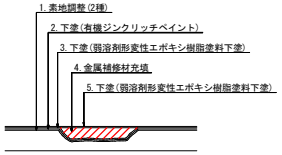
塗替え塗装仕様：Rc-II塗装系（はけ、ローラー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗料間隔
素地調整	2種　(湿式塗膜剥離剤使用)			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	(240)	(30)	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30	
上　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	25	1日～10日

※1：素地調整程度2種であるが、健全なジンクプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜は全面除去した場合、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗布する。この際、使用量の目安は240g/m2程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m2とする。

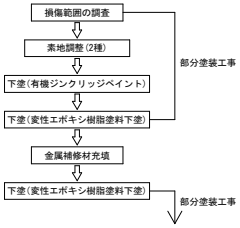
主桁断面修復工要領図(参考)

［金属補修材充填工法］



注記)
1. 補修対象は、L-Flg上面の凹み深さが
h=2mm以上の箇所とする。

補修施工フロー



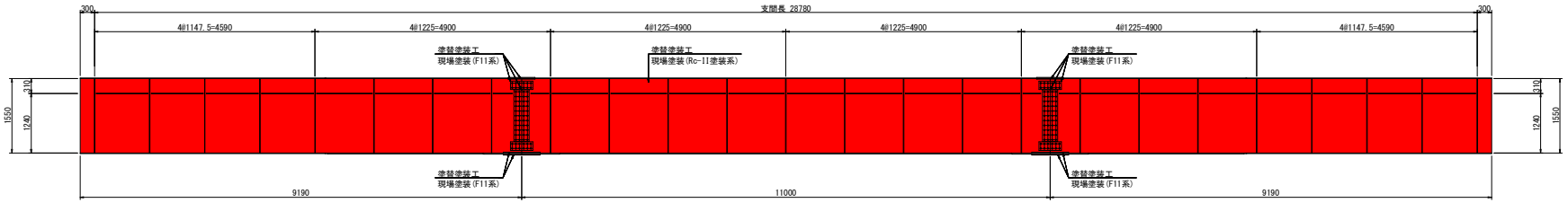
注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
水道管、電力管、NTT管およびそれらを支えるブラケットについては、
管理者が異なるため、塗替塗装工の対象外としている。
2. 旧塗膜除去は、湿式塗膜剥離剤を使用すること。
湿式塗膜剥離剤は、剥離試験を実施し適正を確認すること。
3. 旧塗膜が湿式塗膜剥離剤で除去しきれない場合は、作業者の安全確保、周辺環境の汚染防止策を確実に講じた上でケレン作業を行うこと。
4. 塗装前には、付着塩化物量が50mg/m2以下になっていることを確認した後、塗装を行うものとする。
5. 腐食部の断面欠損(凹凸が著しい)が大きい場合は、素地を金属補修材で下地処理を行うものとする。
6. 腐食が著しく進行している箇所等については、担当者と状況を確認後、対策方法を協議のこと。
7. 塗替え色は現橋を基本に考えるが、担当者に確認を行い決定のこと。
8. 塗装工事での養生対策は十分行うこと。
9. 関係機関協議については、担当者に確認を行い適宜対応のこと。

実施設計図面

工事名	R３徳土　一宮下中筋線　徳・上八万橋梁塗装工事（３）		
路線名等	一宮下中筋線		
工事箇所	徳島市上八万町（西光寺橋）（第３分割）		
図面名	鋼桁塗替塗装工詳細図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	2 ／ 7
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞		

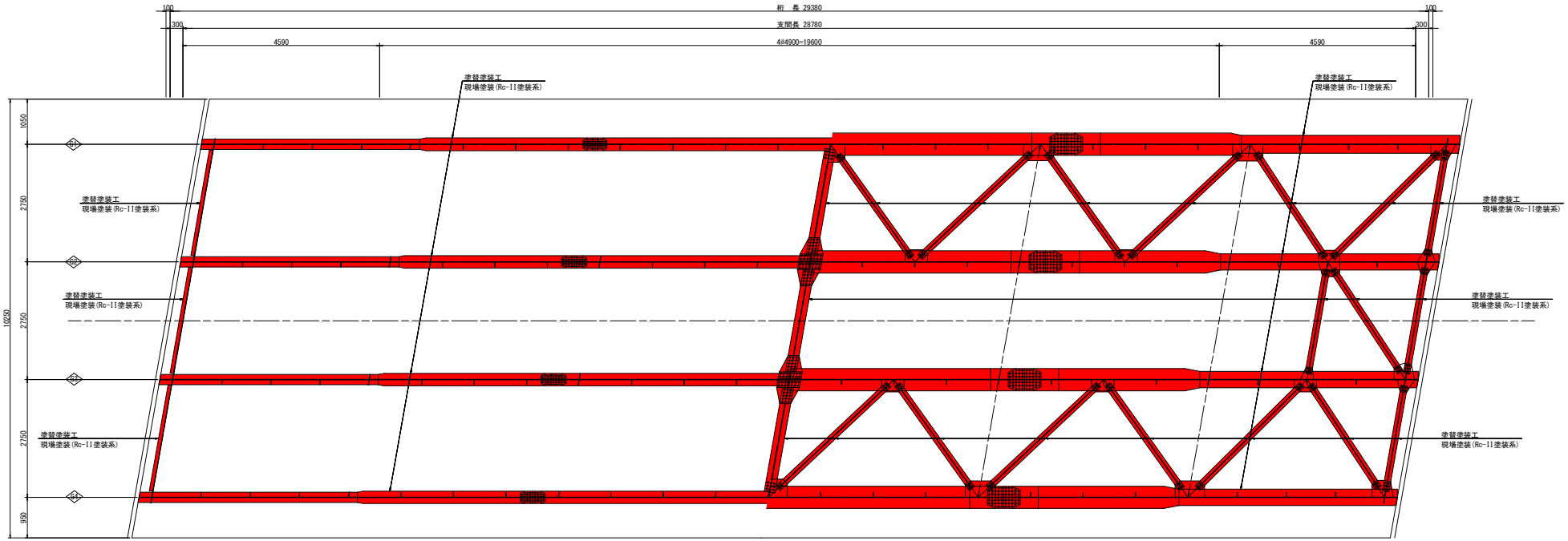
鋼桁塗替塗装工詳細図(2/2)

主桁側面図 S=1:50

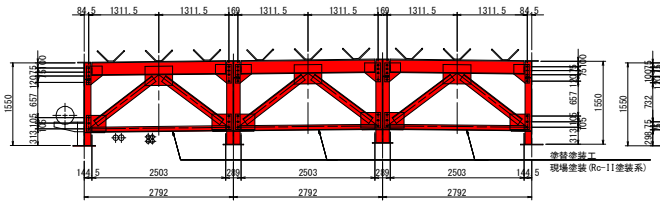


下面平面図 S=1:50

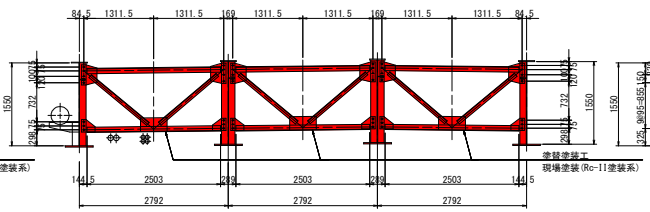
主桁上面　　主桁下面



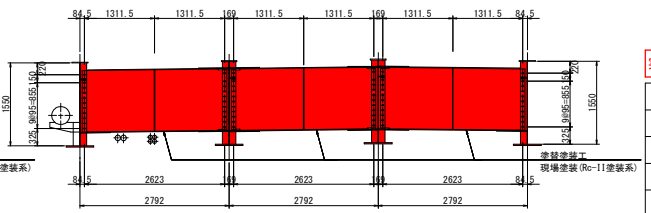
端対傾構



中間対傾構



横　桁

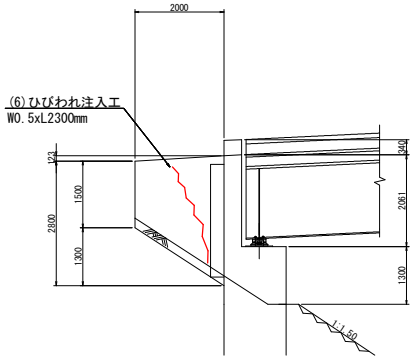


実施設計図面

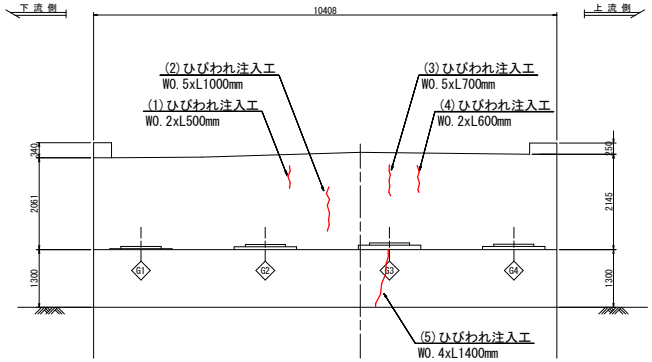
工事名	R３徳土　一宮下中筋線　徳・上八万 橋梁塗装工事（３）
路線名等	一宮下中筋線
工事箇所	徳島市上八万町（西光寺橋）（第３分割）
図面名	鋼桁塗替塗装工詳細図(2/2)
縮尺	図示　　図面番号　3 ／ 7
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞

下部工補修詳細図(1/3)　S=1:60
(A2橋台)

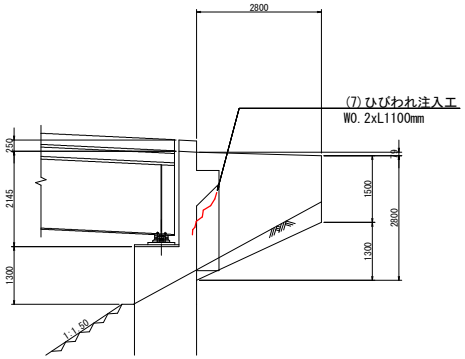
下流側側面図



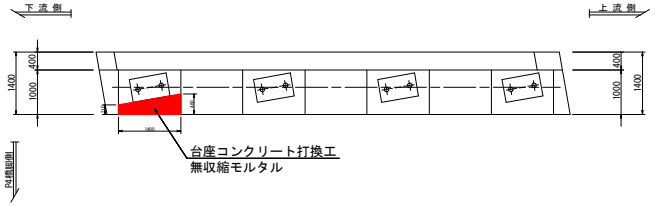
正面図



上流側側面図



平面図



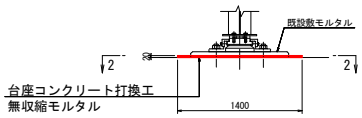
ひびわれ注入工(A2橋台)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(Kg/m3)	備考
(1)	0.20	0.500	0.090	0.011	胸壁部
(2)	0.50	1.000	0.090	0.054	〃
(3)	0.50	0.700	0.090	0.038	〃
(4)	0.20	0.600	0.090	0.013	〃
(5)	0.40	1.400	0.090	0.060	躯体部
(6)	0.50	2.300	0.090	0.124	下流側翼壁部
(7)	0.20	1.100	0.090	0.024	上流側翼壁部
			合計	0.324	

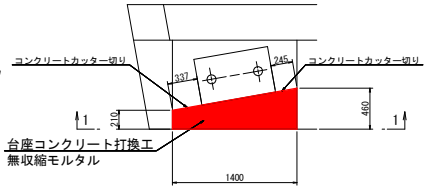
注記)
1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材1種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
3. 注入深さは、かぶり厚(100mm)-鉄筋径の半分(19mm/2=9.5)=90mmに設定している。(かぶり厚さ・鉄筋径は既存図面の値を適用)
4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

台座コンクリート打換工詳細図　S=1:30

正面図(1-1)



平面図(2-2)



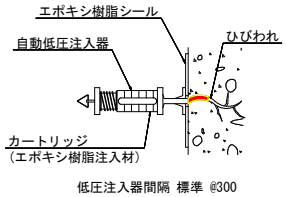
実施設計図面

工事名	R3徳土　一宮下中筋線　徳・上八万橋梁塗装工事(3)
路線名等	一宮下中筋線
工事箇所	徳島市上八万町(西光寺橋)(第3分割)
図面名	下部工補修詳細図(1/3)
縮尺	S=1:60　図面番号　4 / 7
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

下部工補修詳細図(2/3)

ひびわれ注入工

（エポキシ樹脂注入材 1種）



低圧注入器間隔 標準 @300

施工フロー図

清　掃
⇩
注入用パイプセット
⇩
ひびわれ面シール
⇩
注　入
⇩
パイプ撤去
⇩
シール材撤去
⇩
仕　上　げ

注入量Vは下式より算出する。

V=1200・b・h・L・1.20

ここに、

V	：	注入量
1200	：	エポキシ樹脂系注入材 比重(kg/m3)
b	：	ひびわれ幅
h	：	ひびわれ深さ
L	：	ひび割れ延長
1.20	：	ロス率

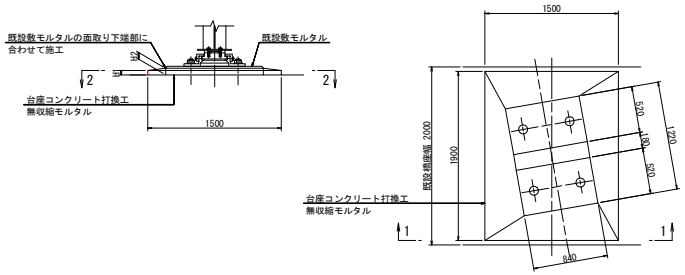
実施設計図面

工事名	R３徳土　一宮下中筋線　徳・上八万橋梁塗装工事（３）		
路線名等	一宮下中筋線		
工事箇所	徳島市上八万町（西光寺橋）（第３分割）		
図面名	下部工補修詳細図(2/3)		
縮尺	-	図面番号	5 ／ 7
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞		

下部工補修詳細図(3/3)

橋脚上台座コンクリート打換工詳細図　S=1:30

正面図(1-1)　　平面図(2-2)



P1橋脚　台座コンクリート打換工寸法表

部位	H1(m)	H2(m)
G2支承部	0.050	0.100
G3支承部	0.050	0.150

P3橋脚　台座コンクリート打換工寸法表

部位	H1(m)	H2(m)
G2支承部	0.050	0.080
G3支承部	0.050	0.110

P2橋脚　台座コンクリート打換工寸法表

部位	H1(m)	H2(m)
G2支承部	0.050	0.100
G3支承部	0.050	0.130

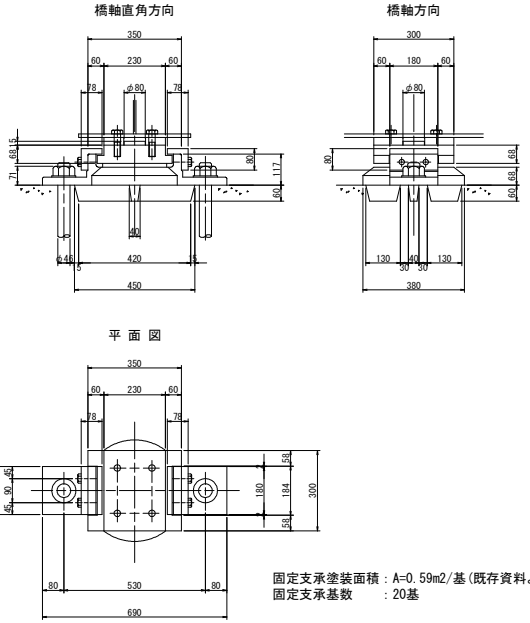
P4橋脚　台座コンクリート打換工寸法表

部位	H1(m)	H2(m)
G2支承部	0.050	0.100
G3支承部	0.050	0.120
G4支承部	0.050	0.110

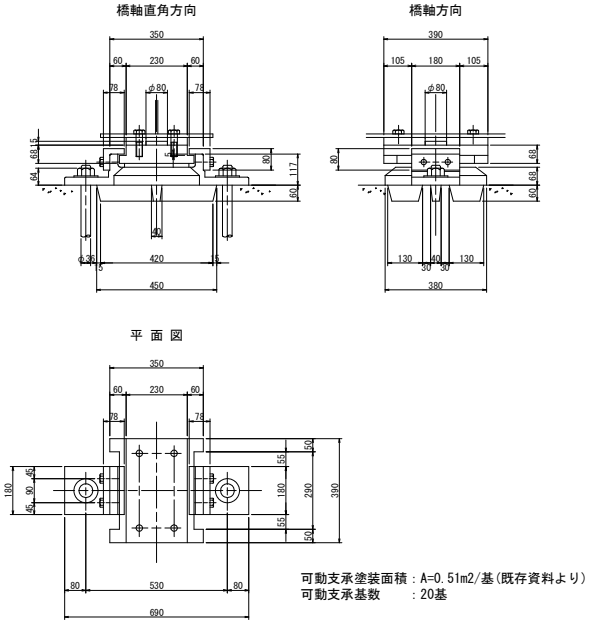
注記)
1. 部材寸法は、工事に先立ち再計測及び再確認を行い、工事に反映すること。
2. 既設台座コンクリート撤去時に、鉄筋が確認された場合は、鉄筋を残し既設台座コンクリートのみを撤去すること。
3. 上表と現況に差異が確認された場合は、H1<H2となるように調整の上施工のこと。

支承防錆処理工詳細図　S=1:10

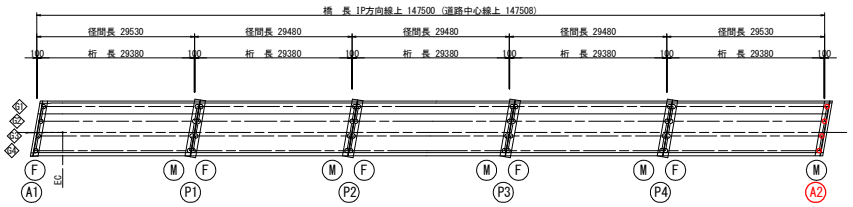
固定側支承



可動側支承



マーク図　S=1:500



常温亜鉛めっき塗装工法

工　程	塗布量(g/m2)	実塗布量(g/m2,本/m2)				塗膜厚(μm)	
		ハケ	スプレー	エアゾール		ドライ	ウェット
素地調整	2種 湿式塗膜剥離剤使用						
常温亜鉛めっき1回目	250	300	325	1.5本		40	75
常温亜鉛めっき2回目	250	300	325	1.5本		40	75
合　計	500	600	650	3.0本		80	----

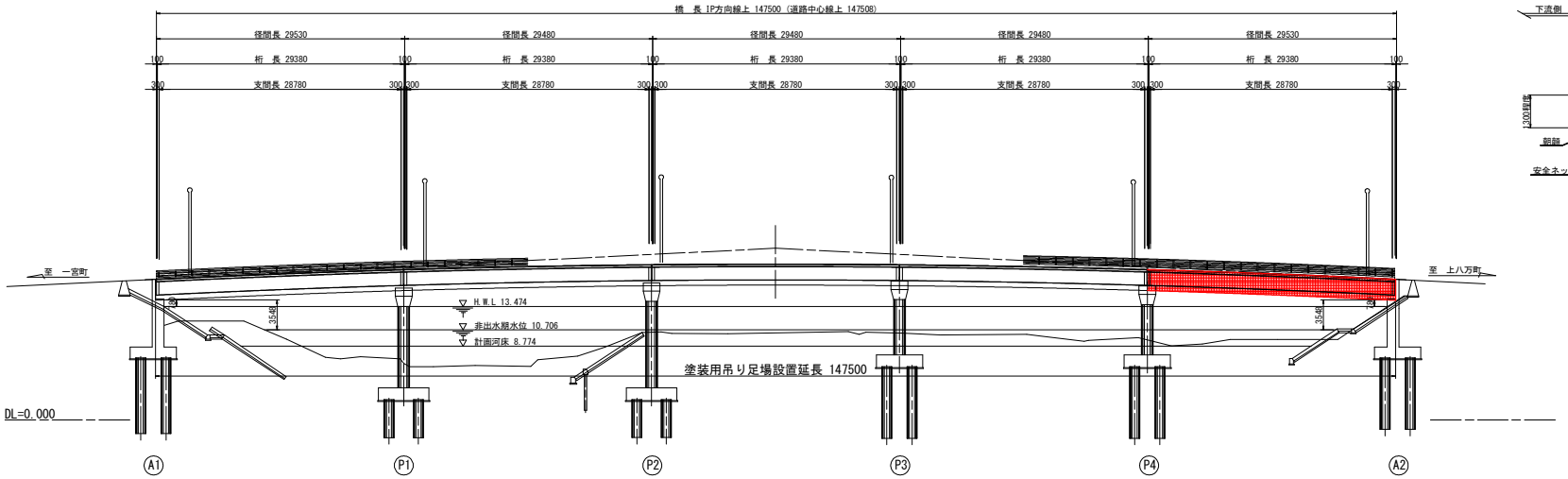
注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 旧塗膜除去は、湿式塗膜剥離剤を使用すること。
   湿式塗膜剥離剤は、剥離試験を実施し適正を確認すること。
3. 旧塗膜が湿式塗膜剥離剤で除去しきれない場合は、作業者の安全確保、周辺環境の汚染防止策を確実に講じた上でケレン作業を行うこと。
4. 塗装前には、付着塩化物量が50mg/m2以下になっていることを確認した後、塗装を行うものとする。
5. 塗装工事での養生対策は十分行うこと。
6. 関係機関協議については、担当者に確認を行い適宜対応のこと。

実施設計図面

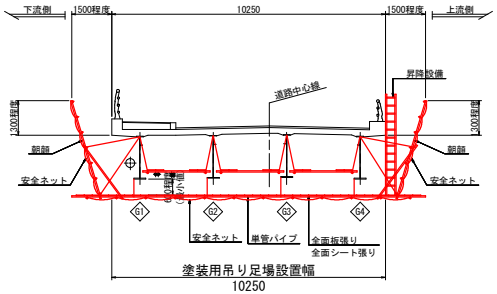
工事名	R3徳土　一宮下中筋線　徳・上八万橋梁塗装工事（3）
路線名等	一宮下中筋線
工事箇所	徳島市上八万町（西光寺橋）（第3分割）
図面名	下部工補修詳細図(3/3)
縮尺	図示　図面番号　6 ／ 7
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞

塗装用足場設置計画図(参考図)

側面図　S=1:300

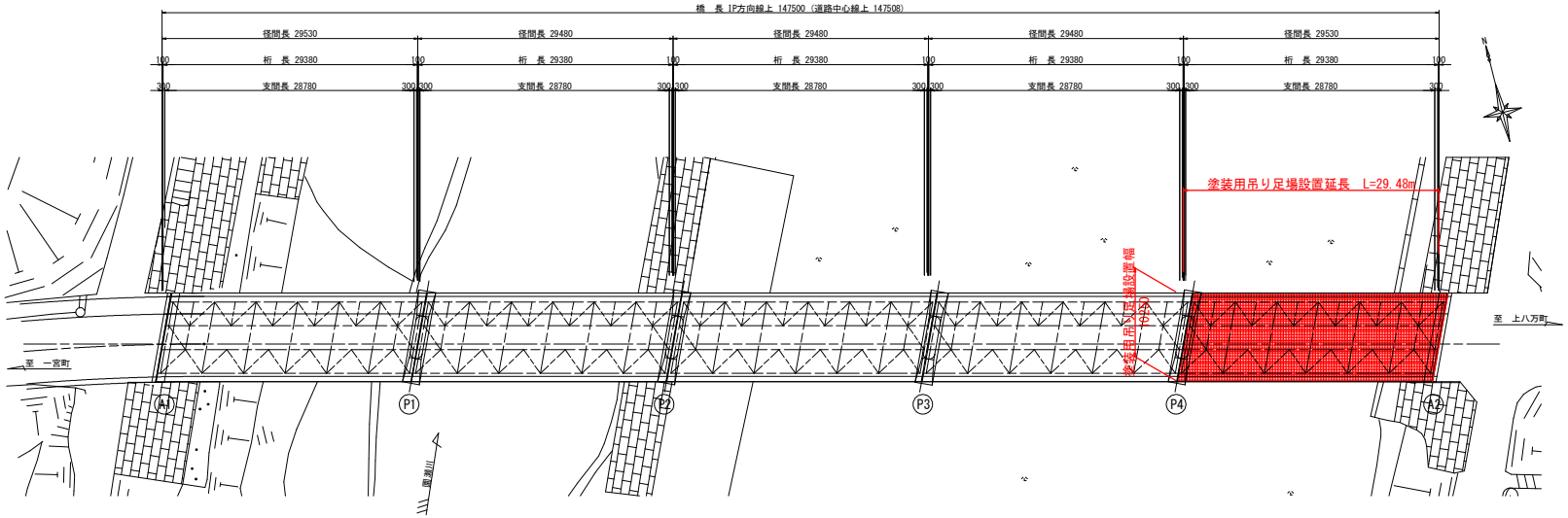


上部工断面図　S=1:100



注記)
計画高水位(H.W.L)は、既存資料より引用した値である。
非出水期水位は、過去10年の非出水期の実績降雨量を基に算出した値である。

平面図　S=1:300



注記)
1. 本図面は参考図のため、工事着手に際しては施工者にて検討のこと。
2. 塗膜剥離の際には、塗膜クズ等が飛散しないように適切な措置を講じること。
3. 昇降設備の入り口には、第三者が立ち入りできないように安全対策を施すこと。

実施設計図面

工事名	R３徳土　一宮下中筋線　徳・上八万橋梁塗装工事（３）
路線名等	一宮下中筋線
工事箇所	徳島市上八万町（西光寺橋）（第３分割）
図面名	塗装用足場設置計画図(参考図)
縮尺	図示
図面番号	7 ／ 7
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞